

令和9年度概算要求(酒類業振興関係)の概要【計53.2億円】

1. 酒米の安定的な調達に向けた対応 10.9億円* (－) ※括弧内は令和8年度当初予算(計22.0億円)

- ①酒農連携等促進事業

酒米の安定的な調達に向けて、酒造組合等が実施する酒蔵と酒米農家との連携強化等の事業を支援
- ②酒類事業者向け補助金の優先採択

酒類事業者による酒米農家との連携を生かした商品開発等の取組を支援

*このほか、酒蔵による酒米の調達状況等を踏まえる必要があることから、酒米の安定的な調達に向けた酒蔵支援強化については、一部事項要求としている。

2. 輸出促進等による酒類業振興 27.9億円 (16.0億円)

(1) 海外販路開拓支援

- ①渡航費の高騰等を踏まえ、国内の大規模展示会への出展を支援するほか、海外バイヤーの国内招聘を強化
- ②海外の大規模展示会への出展支援や、酒類輸出コーディネーターによる商談会等の開催
- ③酒類製造者と輸出卸・商社のマッチング支援
- ④輸出先国の多角化に向けた海外市場調査及び情報収集



大規模展示会への出展支援 (Bar Convent Berlin 2025)

(2) 日本産酒類の魅力発信等

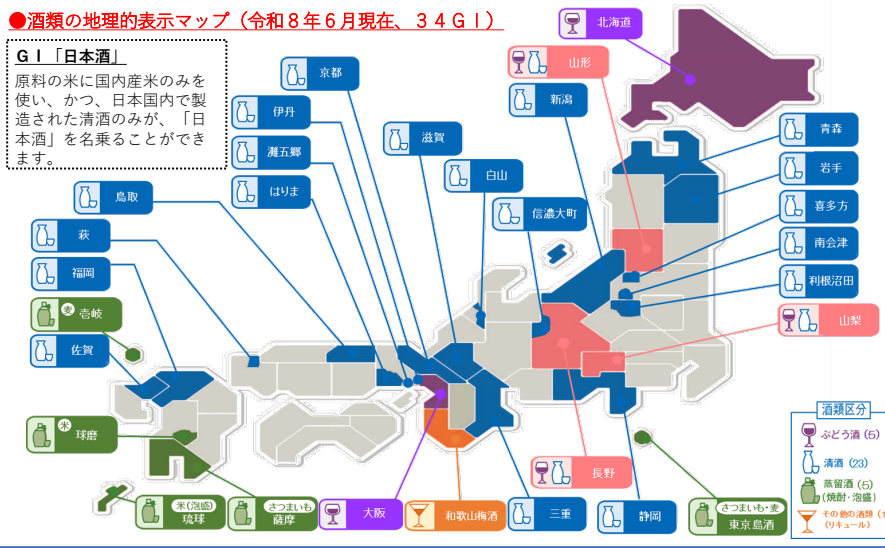
- ①2027年国際園芸博覧会でのPRや訪日需要期を捉えた国際空港国酒キャンペーンの拡大等インバウンドを含む国内外での魅力発信強化
- ②酒蔵の事業承継支援や、市場成熟度に応じた海外現地団体との連携強化による認知度向上等



レストラン・バーにおける日本酒プロモーション (米国・テキサス州)

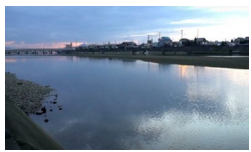
(3) ブランド価値向上支援

- ①地理的表示(GI)のPRや活用促進、海外実態調査
- ②海外酒類専門家の国内招聘
- ③商品の差別化・高付加価値化等のための技術支援



3. 酒類事業者向け補助金等 15.4億円 (6.0億円) ※酒類事業者による酒米農家との連携を生かした商品開発等の取組の優先採択分(1.0億円)を含む。

- ①ブランディングやインバウンドによる海外需要の開拓等、日本産酒類の海外展開に向けた取組を支援
- ②商品の差別化や販売手法の多様化等による経営改革・構造転換を図る取組を支援



ブランディングのツールとして、自社ストーリーを紹介するプロモーションビデオを作成



ハンディターミナルを活用した新物流管理システムによる業務効率化

(注) 日本酒造組合中央会に対する補助金 19.1億円(7.7億円)を含む。
この他に令和9年度概算要求において、(独)酒類総合研究所に対する運営費交付金 13.8億円(10.2億円)及び施設整備補助金 2.8億(－)(地域産品の高付加価値化に資する研究、国内外への情報発信強化等)を計上している。